

師長さん、あのね

医療法人鴻池会 秋津鴻池病院(奈良県)

看護部長 野村佳香

やりたい看護ができない、業務に追われている、とばかり愚痴ってすみません。看護師長さん、私のやりたい看護を聞いてください。

頸髄損傷で動けない中島さん。自宅の造園のお庭が心配なようです。一緒に自宅まで見に行きたいのです。今日の夜勤では、死を免れなくなった山口さんのそばで、ずっと手を握って差し上げたいのです。午後からの仕事を考えながら食事介助をするのではなく、おいしいね、次はこれを食べますか？ と、食事を楽しみながら介助したいのです。

時々、病棟が落ち着いた日には、看護師長さんとたくさん話をしたいのです。私の将来の夢を聞いてほしいのです。だから、毎日愚痴ってば

かりでごめんなさい。看護師長さんもきっと同じ思いなのだろう、と分かっているのに、困らせていますね。

そして、私は看護師長になった。改めて、看護師長さんを困らせてきたこと、ごめんなさい。でも、今も思います。もっと時間をつくってスタッフの話を聞いてあげたい。スタッフの将来の夢を聞かせてほしい。どんな看護がしたいの？ 聞かせてほしいし、聞きたいな。時間をつくらないとね。



執務室での野村さん。師長だった時を振り返って